

A photograph of three women in blue NPO uniforms, each with a yellow '和' (Wa) character on the sleeve, laughing and talking in a bright room with large windows. The room appears to be a community center or office. A red horizontal line is positioned below the main title.

NPO法人日高わのわ会

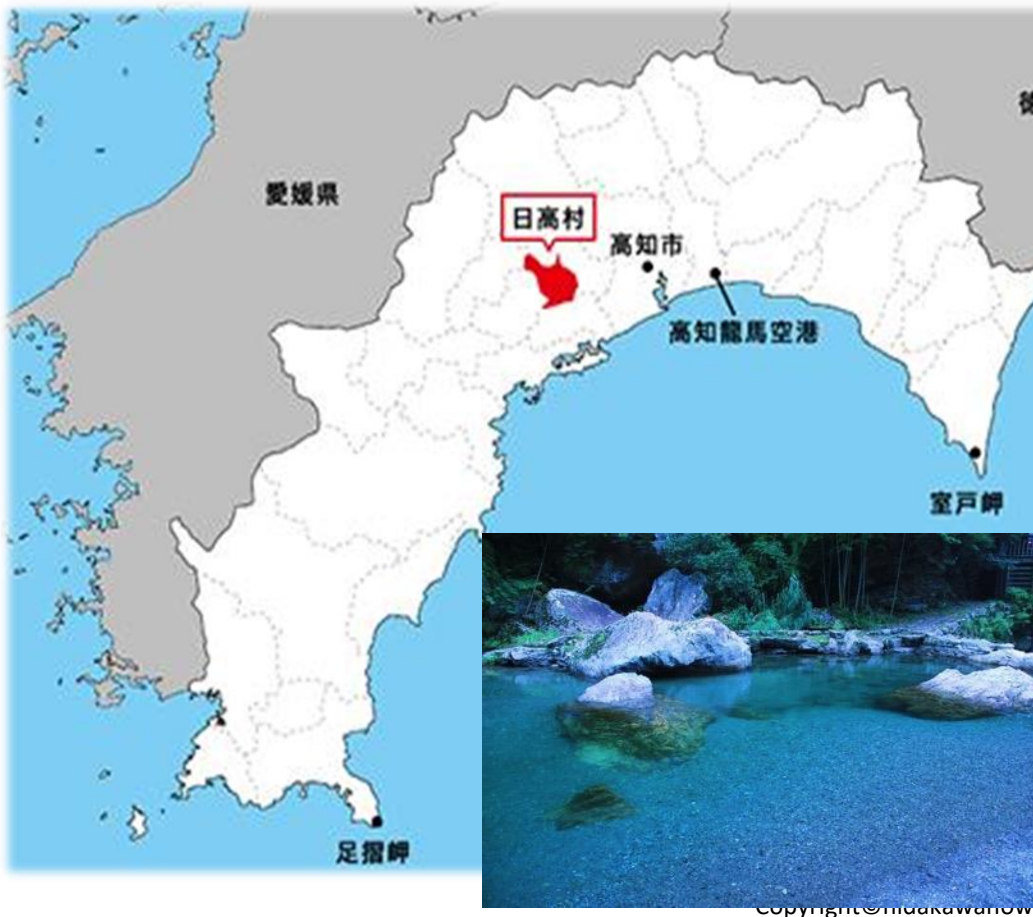
『できる人が、できる時間に、できることを。』

●目次

- 01.わたしたちの村
- 02. 最近の受賞について
- 03. わたしたち”わのわ会”の始まり
- 04.わたしたち”わのわ会”のキーワード
- 05.わたしたち”わのわ会”は、地域を支える一員です
- 06.理念:わたしたちの考えるダイバーシティ
- 07.強み＝仕組み
- 08.この仕組みで、村の様々な課題を解決しています。
- 09.事業概要図
 - └ 各事業案内
- 10.つながりプロジェクト

01.わたしたちの村

人口4,800人、空港から車で40分、日本一の透明度を誇る
仁淀川が流れ、フルーツトマトの栽培が盛んな、トマト村。



02.直近の受賞について

2023年9月:SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞 福祉の部受賞

2020年10月:令和2年度あしたのまち・くらしづくり活動賞「内閣総理大臣賞」

2020年2月:第10回:地域再生大賞「準大賞」

2020年1月:令和元年度ふるさとづくり大賞「団体賞」/総務省

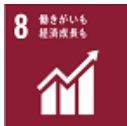
2019年11月:令和元年度地域づくり表彰「国土交通大臣賞」/国土交通省

2017年3月:令和元年度地域づくり表彰「国土交通大臣賞」/国土交通省



2017年9月28日:地域再生推進法人に指定されました。

2021年10月:こうちSDGs推進企業として認定されました。



02.トピックス

・2017年1月：第百九十六回国会における安倍内閣総理大臣施政方針演説にて登場



←内閣官房内閣広報室より掲載

https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/statement2/20180122siseihousin.html

(一部抜粋)

....高知大学で、食品ビジネスを学んだ安岡千春さんは、日高村で栽培されたトマトを使って、ソースやジャムの商品開発に挑みました。今や、全国から注文が集まり、年間一千万円以上を売り上げる人気商品。特産品のトマトが新しい付加価値を生み、日高村の新たな活力につながっています。

地方の皆さんの創意工夫や熱意を、一千億円の地方創生交付金により、引き続き応援します。社会保障分野においても地方独自の取組を後押しするため、都市に偏りがちな地方消費税を、人口を重視した配分に見直すことで、財源をしっかりと確保します。....

・2022年2月：内閣総務大臣金子恭之、副総務大臣中西祐介さん視察にて来村



私たちは、子育て中の お母ちゃんたちの集まり



子育てがしたい。子供と一緒にいたい。
でも空いている時間は何かしたい。役に立ちたい



子供の世話をみんなですながら、
「地域のこまりごと」を解決できるといいな
その思いからスタートしました。

今、注目を浴びています。



#ウェルビーイング #ホールネス

#開発福祉 #シェアリングエコノミー #女性活躍推進

#ティール型経営 #地方創生 #いきがい

#ダイバーシティ #コミュニティビジネス #ワークライフバランス

#地域活性 #子育て支援

▼売り上げ(年間)

約1億3千万円

▼働くお母ちゃん等数

約50人 (5部署23事業及びサービスへ拡大)
※お母さんたちの働く場づくり

▼サービス利用者(年間)

村民 約5%

▼設立

平成17年3月

▼オムライス街道

9億円の経済効果

▼メディア等への登場

約300回以上(累計)

・「地域創生フォーラム」などで事例紹介として登壇

わたしたちの理念と強み/事業内容

「年をとっても障害をもっても
その人らしく暮らせる日高村」をミッショに

できる人が、
できる時間に、➤
できることを。

好きな時間に
好きな仕事をする。
幸せ村の働き方

誰もが活躍できる社会をつくるために大切なこと。

村をひとつの家族として考える

“村まるごと家族プラットフォーム”



お母さんのお節介が、
既存サービスの狭間を支える!

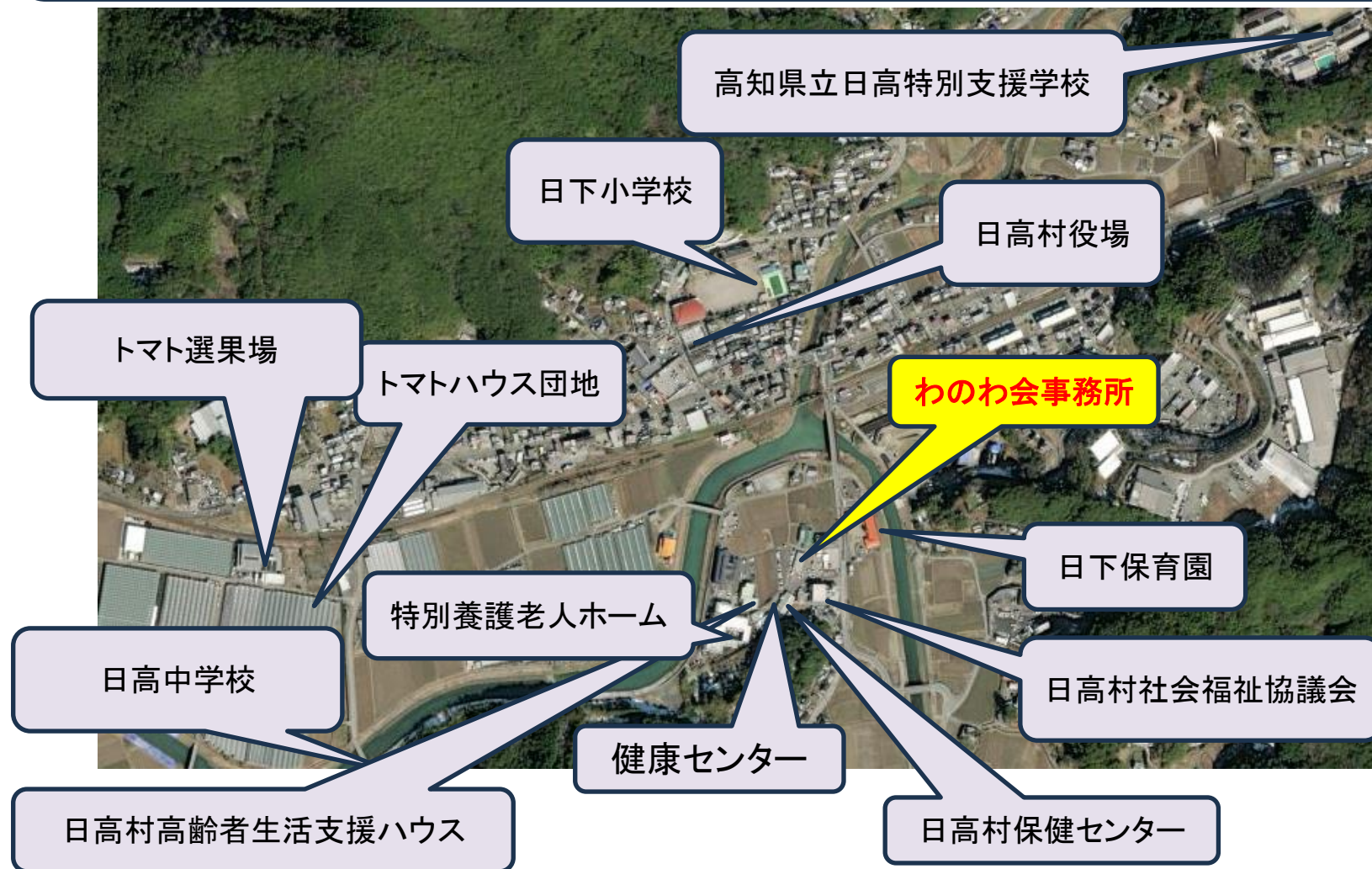
※近隣との連携

企画課:ふるさと納税や地域おこし協力隊受入、地域再生推進協議会

産業環境課:トマト加工品販路拡大事業や農家との調整、農地の借り上げ支援、クラスター事業

健康福祉課:障害者支援、高齢者の支援連携、相談支援

教育委員会:日下小学校との調整(はたけクラブ)

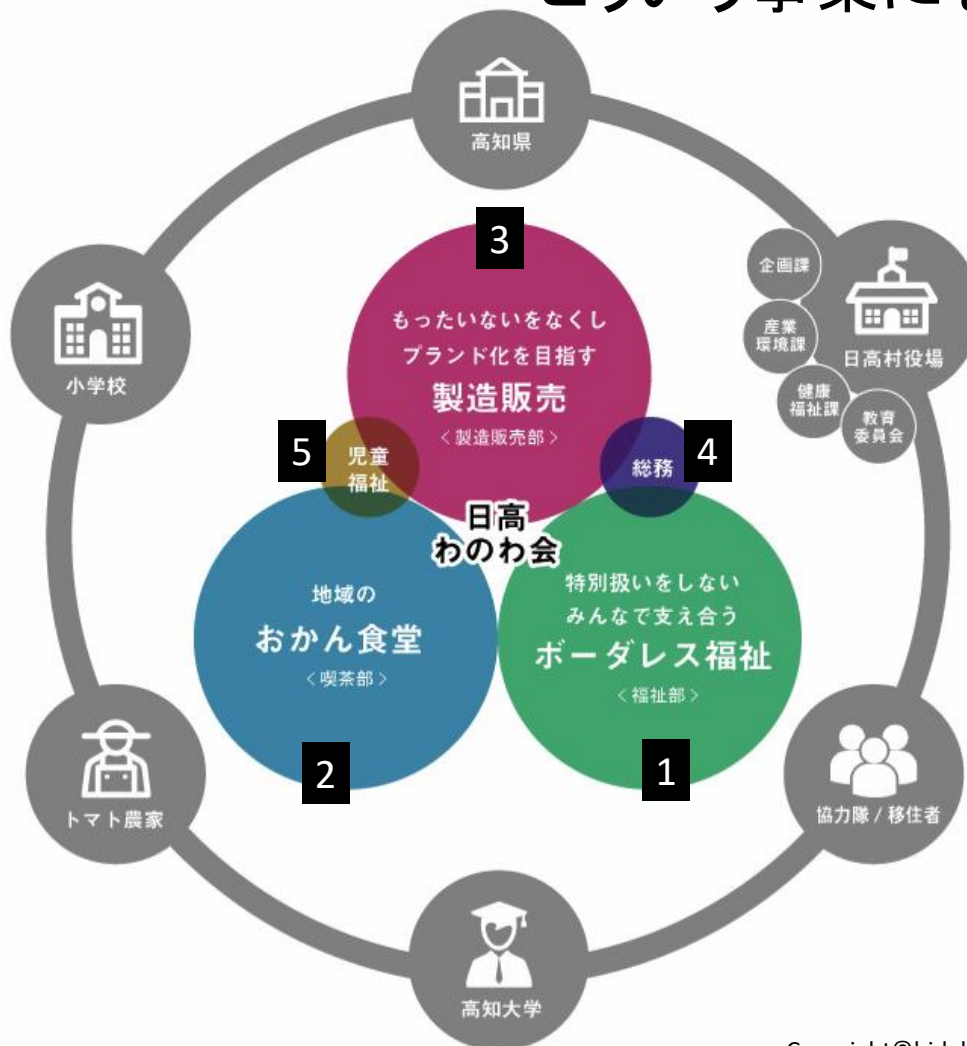


08.この仕組みで、村の様々な課題を解決しています。

- ・子育ての相談ができない＞集まって、お互いに子育ての悩みを話し合う、解決！
- ・子供の洋服代は痛手だ＞みんなで譲り合おう！
- ・農家さんが困っていた、捨てられてしまう規格外のトマトを買い取って加工品へ。
- ・高齢者(わたしの)の話を聞いて欲しい！孤独で寂しい＞傾聴ボランティアで解決
- ・遠くに住む家族が困っていた、安否確認＞お買い物サービスで解決
- ・家族や、ご本人が薬を飲み忘れないように＞声かけで解決
- ・小学校が困った、学校以外での地域との交流が少ない！＞地域、障害者、おじいちゃんなどみんなで畑を作ろう総合学習、開かれた学校作りへ。
- ・障害児の預かり先が近場でなかった＞預かりましょう！
- ・障害者への理解が薄い！＞チャイルドルームで健常児&障害児と一緒に預かり、小さい時からの障害への壁を低くする
- ・ご飯を自分で作れなくなった、作るのが大変だ！＞配食サービスで解決しましょ。
- ・子供を用事のあるときだけ預かってもらいたい＞預かりましょう。
- ・困ったときにすぐに手伝ってくれる人がほしい＞家事手伝いサービスで解決！
- ・トマト最盛期の時に人手が足りない！＞福祉部でお手伝いにいきましょう。

など

結果、困りごとを解決して行ったら こういう事業になりました。

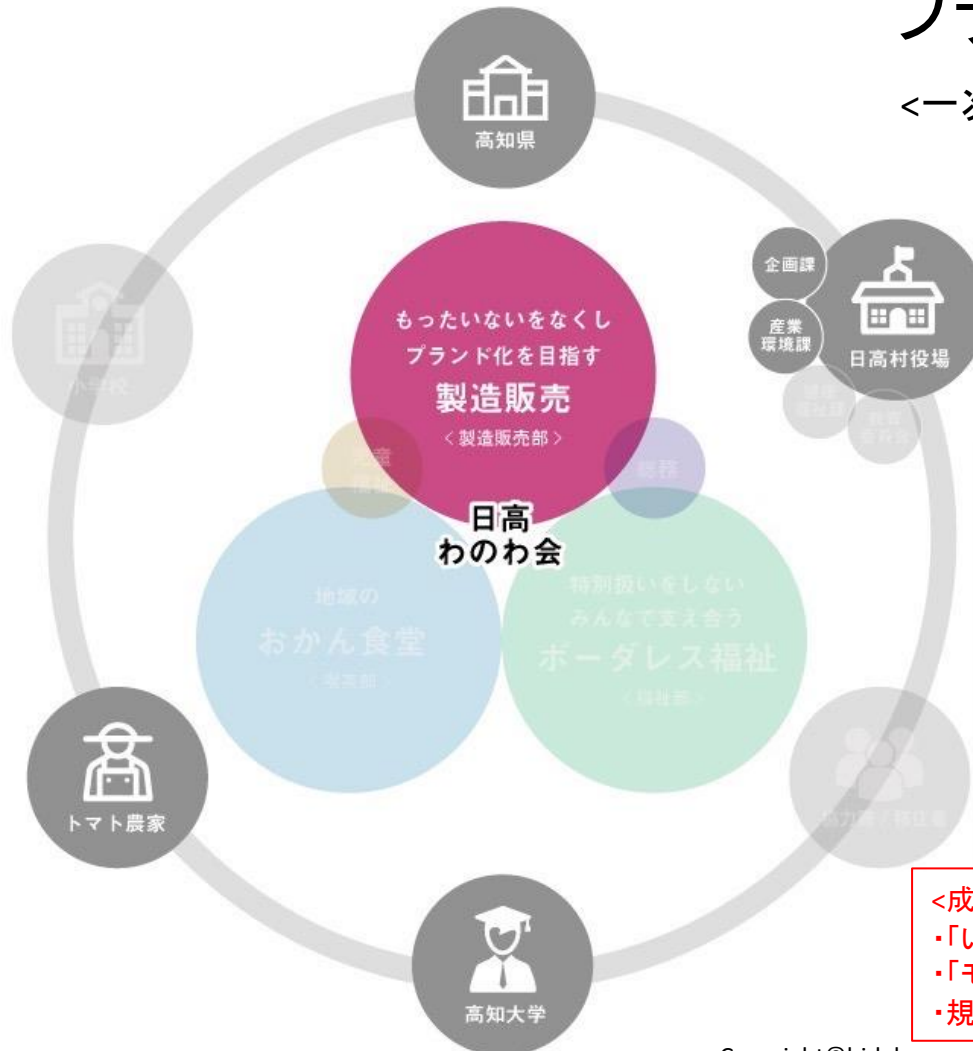


事業内容

1. 特別扱いをしない、みんなで支え合うボーダレス福祉 <村の健康福祉課連携>
2. 地域のおかちゃん食堂 <地域活性化>
L 自分の家で最後まで暮らしたい人へ、配食サービス
3. もったいないをなくし、ブランド化を目指す製造販売 <一次産業連携、地域活性化>
4. 地域を点から線へ、線から”わ”へ、その他の地域サービス
L 買い物が困難な人へ”お買い物サービス” <村の産業環境課連携>
L できないことをお手伝い、ホームヘルプサービス
L みんな使うところを綺麗にする、公共施設の掃除サービス <村の産業環境課連携>
5. 保育園に行けない時間や、受け入れてもらえない時期に幼児から子供を預かる、
障害者も健常者も丸ごと預かりチャイルドルームサービス <村の健康福祉課連携>
L 学校連携_小学3年生での授業の一環として、地域と子供、障害者が一緒に活動する総合学習”畑クラブ” <村の教育委員会×日下小学校との連携>

もったいないをなくし、 ブランド化を目指す製造販売

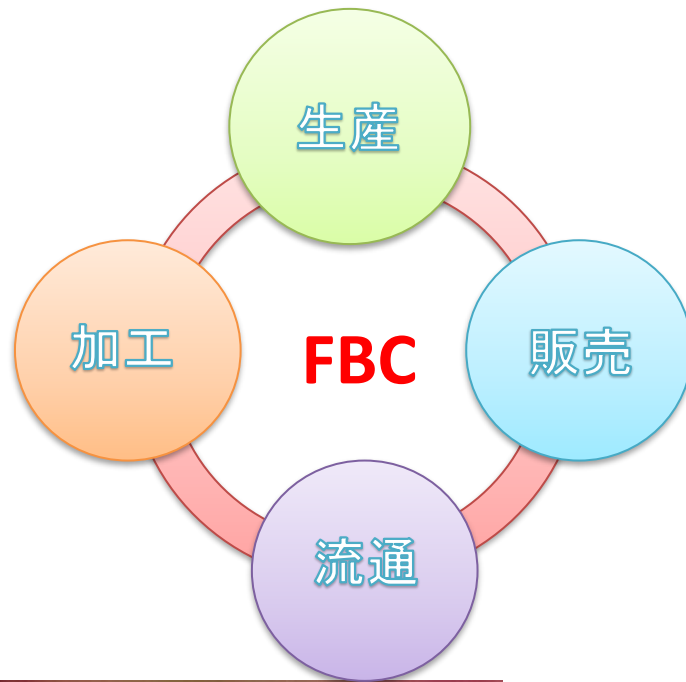
<一次産業連携、地域活性化>

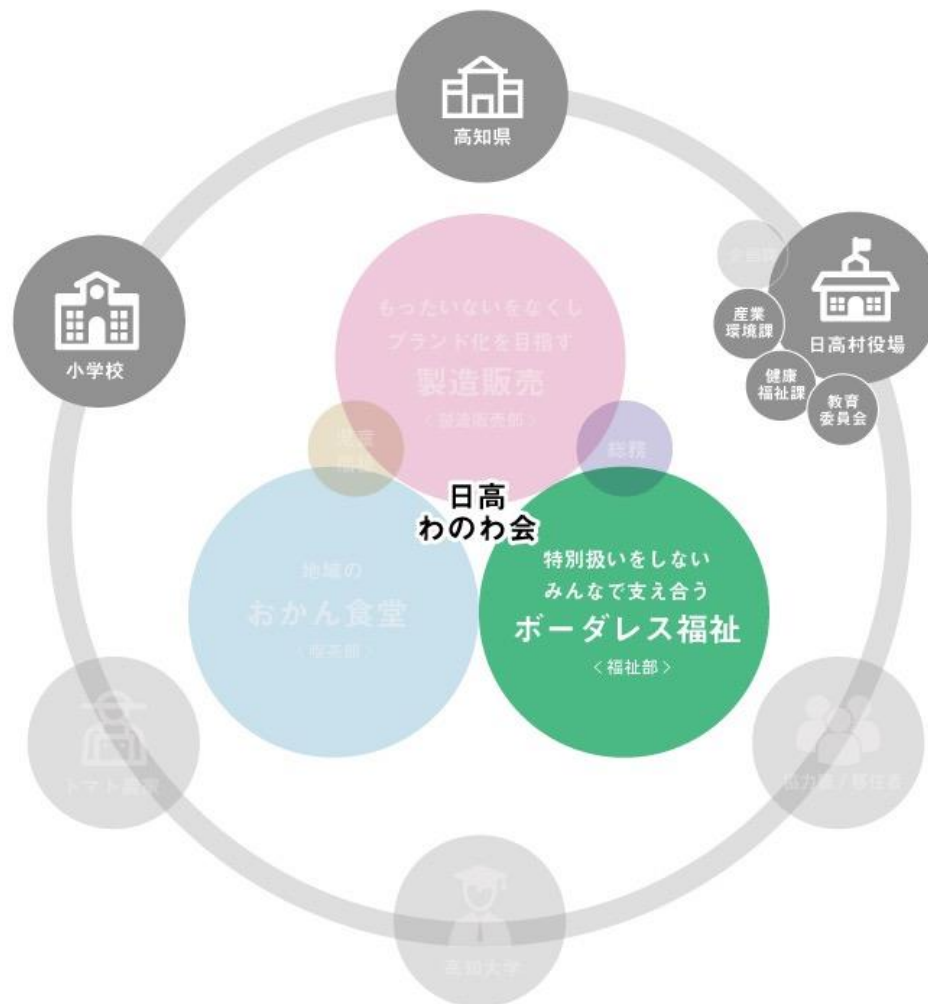


<成果>

- ・「いいね！JAPANソーシャルアワード」特別賞受賞
- ・「モンドセレクション」金賞受賞
- ・規格外トマト200万円/年の買取実施により、地元トマト農家の収入増

● FBC受講 第2期生



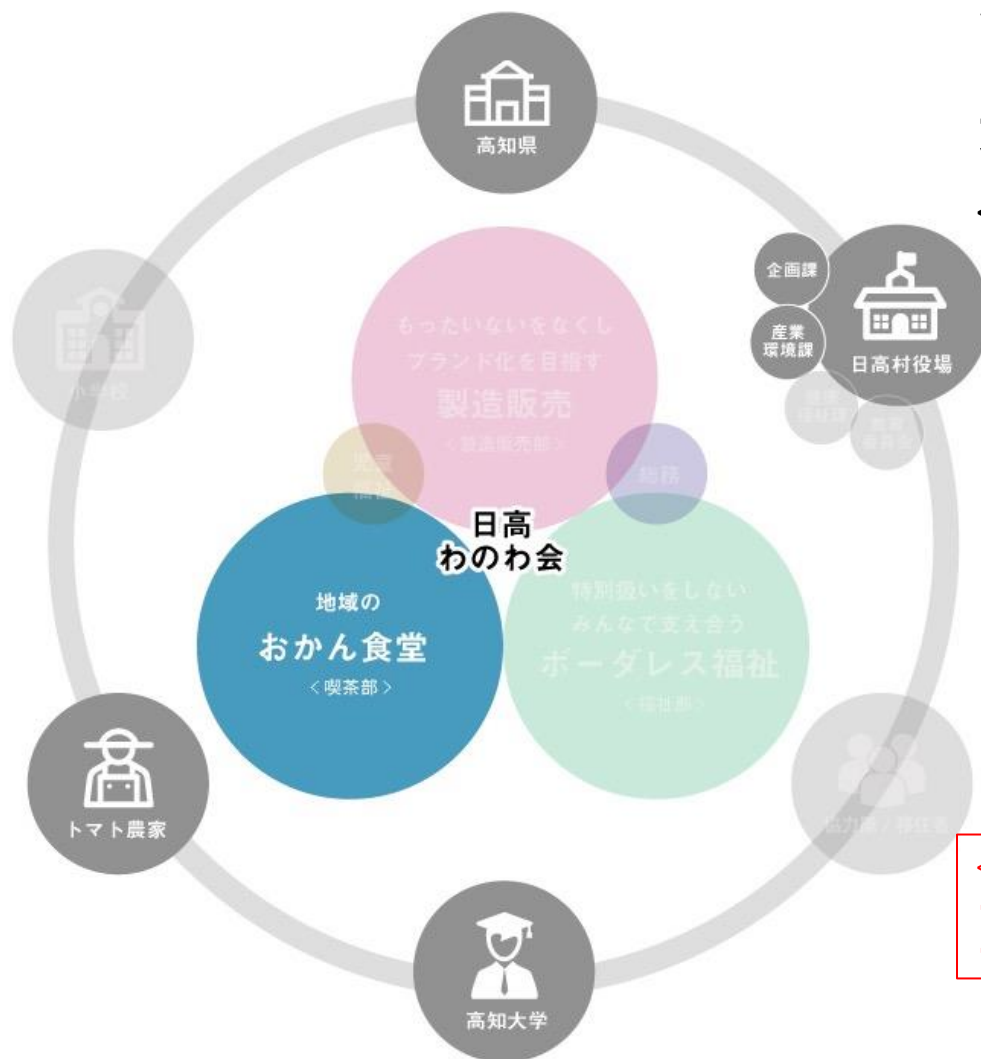


特別扱いをしない、 みんなで支え合う ボーダレス福祉

<村の健康福祉課連携>



- ・ 就労移行支援事業
- ・ 就労継続B型事業
- ・ 指定特定相談支援事業
- ・ 障害者日中一時支援事業
- ・ 共同生活援助事業(グループホーム)



料理好きなお母さんたちが
できたてをふるまう、
地域に愛される地元食堂。

<地域活性化>

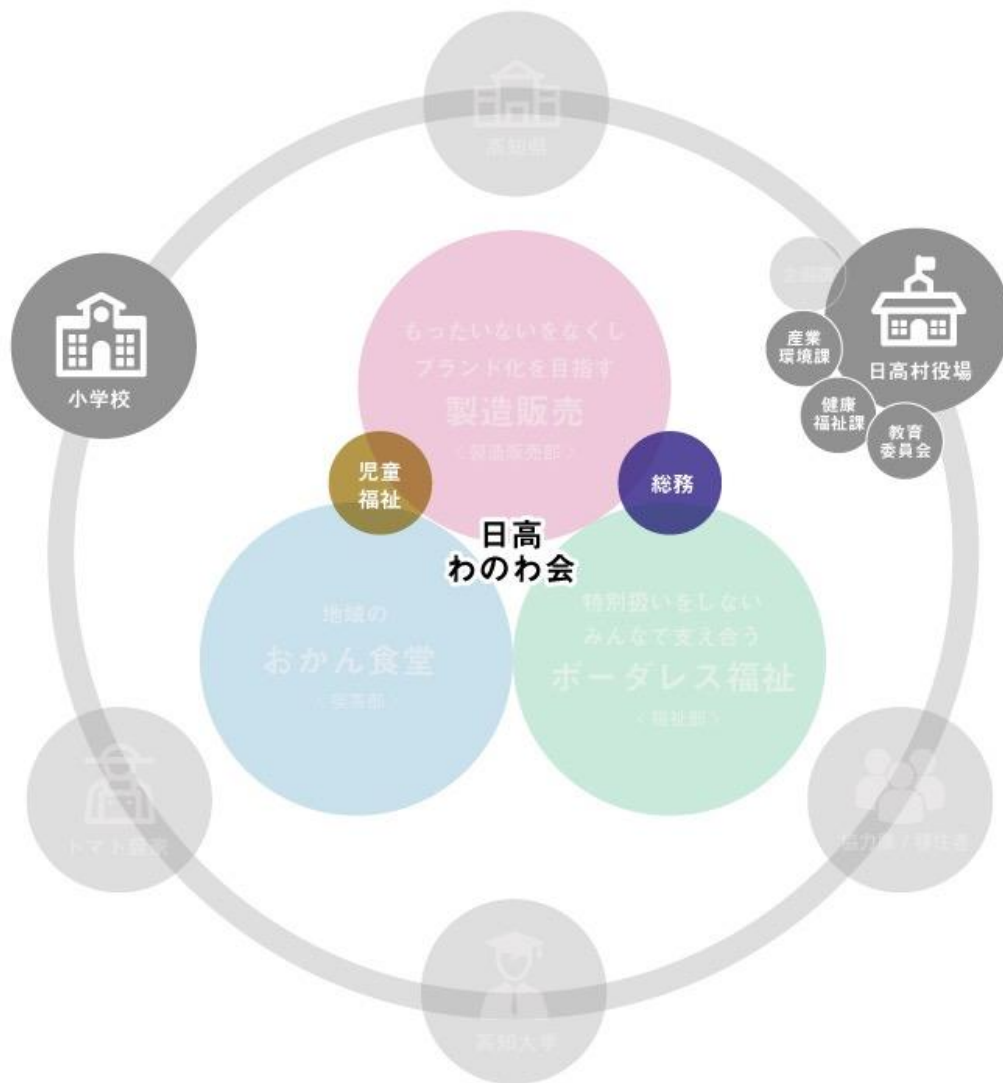


- ・喫茶わのわ(宅配弁当、配食サービス)
- ・とまとすたんど(喫茶3号)

<成果>

- ・オムライススタジアム2019「こだわり野菜オムライス賞」受賞
- ・経済波及効果9億円

●各事業紹介:児童福祉、総務



もっと!隙間を埋めて、 村民の困りごとを解決

●総務

受託事業他
集会所や四国の道清掃・村の駅トイレ清掃
日高村物流支援事業
軽度支援事業
家事手伝い
農作業請負
軽作業

●児童福祉

日下小学校との「はたけクラブ」
チャイルドルーム(託児)
障害児の日中一時支援

●隙間を埋めて19年 村民の困りごと

配食サービス
49,855食

はたけクラブ
7,195人



ホームヘルプサービス
5,298時間
介護保険外の支援

買い物支援件数
8,913件



とまと買取量
109t
高知県SDGs推進企業

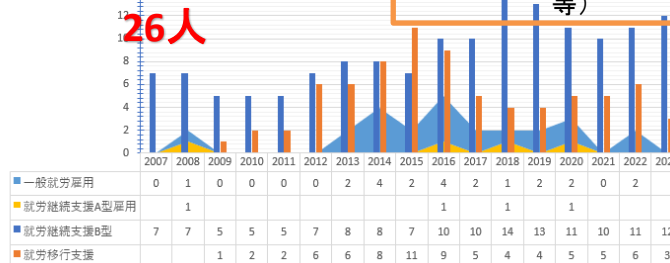


一般就労に繋がった人

26人
220人

障害者の一般就労へ
26人

福祉サービス利用者増
(渋谷食品・仁淀デンツウ・うらら保育園・マクドナルド等)



つながりプロジェクト

高知大学サークル”あだたん”とコラボ

黒潮祭高知大学祭出店

日高村の「食」の魅力を村外の人にPR!



日高村の魅力を大学生視点でPR イベント企画実施

開催日	場所	来場者数	出店者数
2014/10/5	保健センター	583人	8
2015/11/15	小村神社参道	1200人	14
2016/11/11	小村神社参道と公園	1300人	18
2017/11/11	小村神社参道・公園・境内	1500人	26
2018/11/11	小村神社参道・公園・境内	2000人	26
2019/11/14	小村神社参道・公園・境内	2,000人	28
2020/11/15	小村神社参道	1,800人	22
2021/11/13	小村神社参道	1500人	25
2022/11/19	小村神社参道・境内	2,000人	32
2023/11/18	小村神社参道・公園・境内	900人	36
2024/11/17	小村神社参道・公園・境内	1,500人	32

日高飯ふえすていばる
日高村の「食」の魅力を
村外の人にPR!







<地域おこし協力隊と一緒に> 日高村＝トマト村のブランディング & 交流拠点

村外と村内をつなぐ小さな村の、小さな交流拠点”とまとと”が

2019年11月オープン！

<知る、学ぶ>
世界中から集めた
とまと図書館が壁
一面に。

<課題>
村内唯一の宿泊施設
村内宿泊施設ゼロを
解消します。

<交流の拠点拠点>
・村民同士
・学生と村民
・村外からくる方等

村民に弟子する
暮らし体験も提供



とまとを食べる
+学ぶ+泊まれる
トマト村のフラグシップ店
になります。

<1Fはカフェスペース>
・1Fでは、村の規格外のと
まとを使ったメニューを提
供。
規格外で捨てられてしまう
トマトをゼロにします。

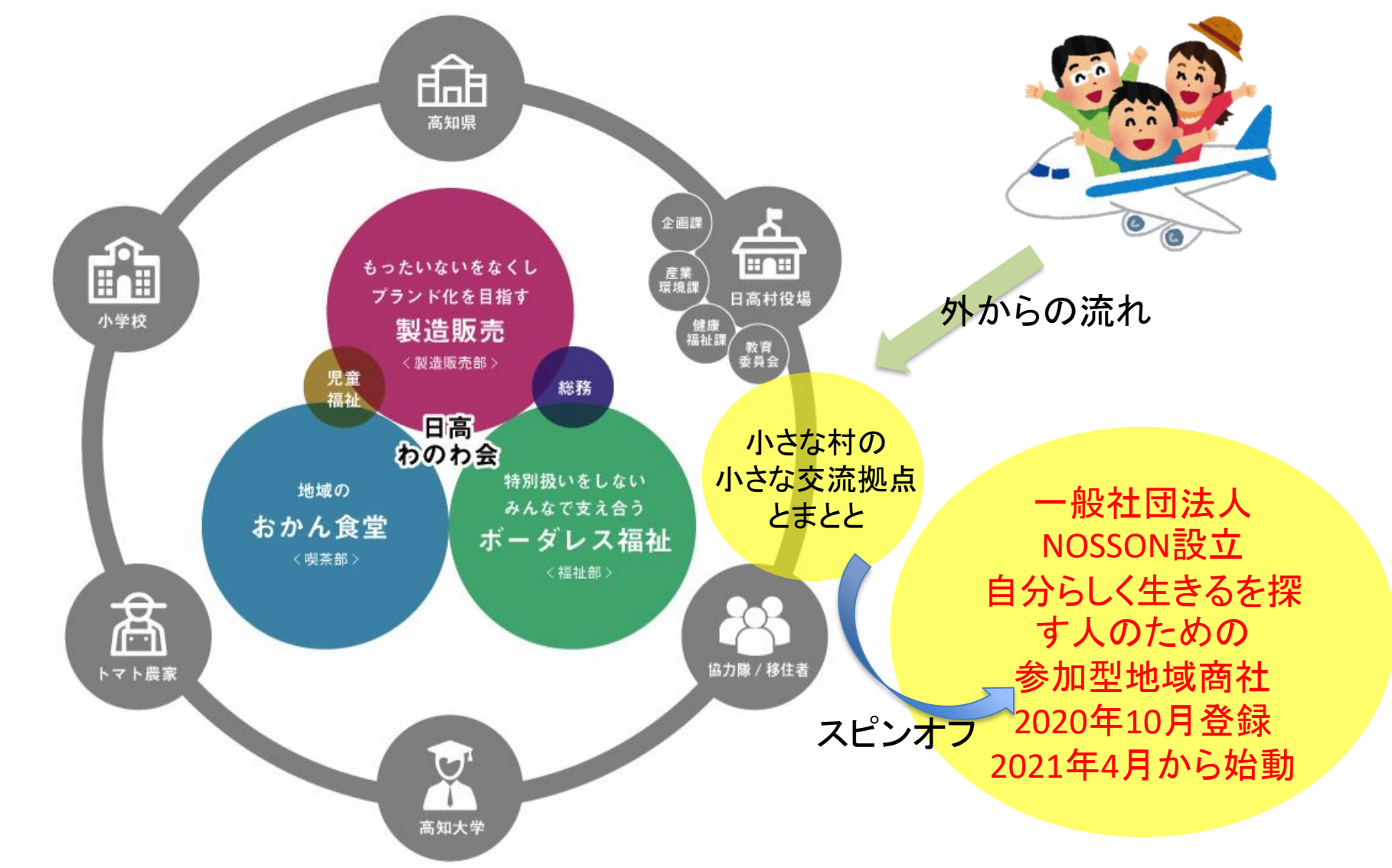
<村の玄関になります！>
・村への移住窓口
になります。
・村にある飲食店や観光
施設へ送客

学生同士の交流・
学生と村民が
交流できるような場
所づくり

10.つながりプロジェクト2



10.つながりプロジェクト



10.新しく生まれた、地域商社『参加型地域商社、一般社団法人nosson』

NPO法人わのわ会で3年間、地域おこし協力隊として活動した小野さんは、令和2年10月14日に、スピンオフして地域商社を設立。

日高わのわ会＝お母ちゃん、日高村役場＝お父ちゃんとの間に生まれた地域商社です。地域から日本を元気にすべく、移住した仲間と4事業に取り組んでいます。

一般社団法人nossonは、関係人口を創出しながら地域を盛り上げていく、参加型の地域商社として、さまざまな方を受け入れ、その人らしさを表現しながら、地域規模にあった新たな協働と共創に取り組んでいます。

一般社団法人nossonは、
地域再生推進法人であるNPO法人日高わのわ会からスピンオフした、
高知県日高村を拠点とする地域商社です。



ビジョン：描く未来

自分らしく生きる人を増やす。

ミッション：使命

人も地域も、自分らしく。

私たちの行動指針

- 1、自分の利益を優先にしない。地域や人への貢献を最優先に考える。
- 2、決めつけない。とりあえずやってみるを大事にする。
- 3、他者からの評価を恐れない。自分や相手にまず正直でいること。
- 4、走りながら進化する
- 5、オープンな文化
- 6、人を褒める、感謝する

主力事業

- ・Eat&Stay とまと運営部門
- ・地域人材マネジメント部門
- ・ふるさと納税部門
- ・地域資源の開拓部門

10.Nossonの事業

●関係人口を創出する『いきつけいなか』



●日高村行政連携『日高村のふるさと納税』



●村の外と中をつなぐ交流拠点 eat&stayとまとと

●トマト村を全国にPRする拠点



●高知大学FBCにて、トマトの健康食品開発を実施



『いきいきソーシャルアクションプロジェクト』- 概要



きれいすぎる川、幸せすぎる村がはじめた

いきいきプロジェクト始動

高知県にある人口4,700人の小さな村、日高村で立ち上がった「いきかえる、いきなおす、いきいき」プロジェクト。高齢化が進み地域の活力が低下している地域と、ストレス社会でメンタルの課題を抱える都会。お互いの課題を掛け合わせることで、あらゆる世代のいきいきビーイングを目指します。地域がいきいきすると、都会もいきいきする。そんなお互いに支えある仕組みをつくり、日高村から日本社会にいきいき旋風を巻き起こします。

第1弾、いきいきソーシャルアクションとして4～5企業に賛同いただいています。



① (仮) トマトと豆のゼリーの開発



日高村

- ・フルーツトマトと土佐八升豆の栽培
- ・土佐八升豆を高齢者や福祉施設の方と一緒に復活栽培
⇒雇用、やりがいの創出

都会

- ・ストレス社会の悩みに寄り添うゼリー
(栄養補助食品)

② 村民交流&農業体験



- ・地方の多様性や共同作業の体験を通じて、自分や組織を見つめ直す機会に
- ・企業の「多様性」や「well-being」の研修として採用

12. 挑戦する人を受け入れる土壌でもある、日高わのわ会

当団体は、外からの人を地域で受け入れ、
母親のように支え、時には一緒に活動し、新しいチャレンジを支えています。

一般社団法人nossonのような地域活性を行う人たちと共創していきます。

雨後の筍のように、たくさんの挑戦を生み出せる、
やさしくあたたかな土壌として。

これからも、たくさんの人を向かい入れ、
収縮する地域を支えながら、日本の地域のロールモデルになるべく、
視察も研修もたくさん受け入れ、日本を元気にしていきます。



誰もが活躍できる社会を目指して！
人の輪、話の輪、平和の輪がつながり、大きな輪に！

私たちの活動はこちらからご覧ください。

テレビ朝日 Jの追跡

https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000297991.html

令和元年度ふるさとづくり大賞 団体表彰

<https://www.youtube.com/watch?v=AaKvw1-tRs8>

自社のコーポレートサイト

<http://wanowa-hidaka.com/>

日高村プロモーション動画

<https://youtu.be/dYes1HnGvhw>

